

令和4年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
若年性認知症支援者研修会 オンライン開催 報告書

1. 研修会名：「令和4年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 若年性認知症支援者研修会」
2. 目的：孤立しやすい若年性認知症の一人ひとりが、その状態に応じた切れ目のない適切な支援が受けられることを目的とする。若年性認知症支援コーディネーターの役割と支援・課題について周りに知って頂き、若年性認知症の支援連携のイメージが出来ることを目指す。
3. 主催：沖縄県（受諾 特定医療法人アガペ会）
4. 対象：若年性認知症の相談窓口職員（市町村役場担当職員・地域包括支援センター職員・認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チーム員・介護支援専門員・医療機関相談員・介護保険事業所の相談員など）、医療・福祉・就労関係者等
5. 方法：沖縄県若年性認知症支援推進事業について  
①相談対応・本人とご家族の居場所づくり、②ネットワークの構築、③若年性認知症の理解を深めるための普及啓発活動、支援者研修会・一般講演会の開催について説明を実施する。
6. 日時：令和4年7月29日（金） 14:00～16:00（入室 13:45～）
7. 開催形式：Z o o m（先着100名）
8. 参加費：無料
9. 申し込み方法：申込フォームのQRコードを作成して、実施要項へ貼付。  
又、特定医療法人アガペ会のホームページから申し込みできるよう準備した。
10. プログラム  
司会進行・講師：若年性認知症支援コーディネーター  
内容：若年性認知症支援コーディネーターの役割と支援・課題について

	内 容	
1	事業について	3本の事業の柱・コーディネーターの役割と支援 沖縄県内の相談・支援の現状について
2	支援連携について	関係機関との支援連携の方法について

11. 資料：

当日の資料は開催前の7月27日（水）頃、特定医療法人アガペ会のホームページへ掲載予定と案内し、ホームページへ掲載。参加者の方でダウンロードして活用頂く。

## 12. 広報

- ・ 県高齢福祉課：「若年性認知症支援者研修会要項」を市区町村の関係機関（行政・地域包括支援センター）・福祉関係機関へ FAX 案内
- ・ 県内認知症疾患医療センターへ広報メール送る。

11. 申込人数 令和4年7月29日 : 56名

12. 参加人数 32団体 43名  
(行政4団体：8名、包括19団体21名、医療6団体11名、その他3団体3名)

13. アンケート結果 回答24名 回収率55.8%  
アンケート集計は別紙添付しています。

## 16. 主催者の所感

新型コロナウイルスの影響でオンライン研修が主流となりつつあり、オンライン対応可能な支援者（専門職）という事で、今回も感染状況が続く中、オンライン開催で実施とした。

「若年性認知症」という診断名で、医療・福祉・介護どの分野でも、サービス利用に関して相談すると直ぐに断られる状況がある為、今回は高齢認知症と病気自体は同じである事、発症する年齢が若い為に課題が多い事を導入として資料を作成した。又、多種多様な課題が多く、相談窓口が統一出来ない為、必要なサービスに繋がりにくく、ワンストップの相談窓口として若年性認知症支援コーディネーターが全国配置となっていること等、制度的な視点からの説明を入れた内容とした。

若年性認知症の支援では、高齢者にはない①経済的支援、②就労支援、③子どもの支援の集中支援を主に実施していて、居住区の地域包括支援センターに早めに繋いで、連携しながら多くの支援者で見守りをしていく必要がある。昨年度の研修より、若年性認知症支援コーディネーターの役割と支援について周りに周知を行ない、実際の支援でどのように周りと支援連携するのかの方向性を示すと共に、課題共有することで、支援の方向性が見える化を目指している。集中的な支援が出来、就労支援・介護サービス利用となった場合も、当事者が65 際到達まで経過を追って確認していること、多職種の後方支援を担うなどの情報を説明することに重点をおいている。今後も、若年性認知症の支援はコーディネーター独自だけでは困難であり、生活拠点の行政・地域包括支援センターや関係機関窓口の相談対応力向上を目指していく。後半は、実際に支援している事例を多く盛り込み紹介した。

オンライン研修を行なうにあたり、一人で研修会を進めると、参加者の確認等が難しい。認知症疾患医療センター琉大病院の相談員が当日運営の協力をして頂ける事となり、参加者の確認・アンケート記載の案内などをして頂いた。参加申込者は56名。実際に当日の参加者はオンラインのチャット機能を活用して所属先・名前・職種の記載を依頼したが、きちんと記載が出来ている方と、参加していたがチャットへ記載がない方も存在した。一つのメール

アドレスで申込をして、一部署として数名で研修に参加されることもある為、正確な人数把握も難しいと感じている。把握出来た数として参加者は40名とした。アンケートの回収が24人60%でオンライン研修はでのアンケート回収も難しいと感じている。記載された方々の内容を確認してみると、研修内容は理解を得られたと解釈している（アンケート内容：別紙参照）。

以上